

始めてみませんか？
訪問型家庭教育支援



～学校と家庭と地域をつなぎ、
子育て家庭を応援します～

岡山県教育委員会

訪問型支援とは

訪問の目的は、届ける支援を必要とされている家庭との「つながりづくり」です。
会話や交流を通して顔の見えるコミュニケーションづくりを!

◎訪問型家庭教育支援の主な役割

- ①家庭の孤立化を防ぎ、問題の発生予防や早期発見につなげます。
- ②保護者の話を丁寧に聞いて、悩みや不安を解消します。
- ③保護者が学びの場などの拠点とつながることを支援します。
- ④必要に応じて、関係諸機関の支援につなぎます。



参考：『「家庭教育支援チーム」の手引き書』H30年11月 文部科学省

◎安心を届ける訪問型家庭教育支援チーム

安心して生活するためには、地域の支え合いが必要です。
訪問型家庭教育支援チームは、学びの場や相談の場などに出向くことが難しい保護者に子育て情報や支援を届けます。保護者に寄り添うことで、子どもの育ちを支えます。

届ける支援の タイプ例

紹介するチームは、あくまで一例ですので、この他にも、市町村の実態に応じた訪問型支援があります。
できる支援、続く支援を目指しましょう。

全戸型訪問支援

地域の全ての家庭を訪問するタイプ



ベルト型訪問支援

同年齢、同学年の子どもをもつ家庭を対象に訪問するタイプ

「市町村の目的や課題」

「人口やチーム員数」等を考えた体制づくり

連携型支援

教育委員会と他部局が連携しながら、子育てに関する支援を届けるタイプ

ターゲット型訪問支援

不安を抱えている家庭や希望のある家庭を対象に訪問するタイプ

県内の取組を紹介します

始める準備

訪問型家庭教育支援を進める主な流れを説明します。
訪問型家庭教育支援を始めるにあたって、下記のステップで注意すべき内容や方法について確認しながら準備の参考にしてください。

Step 1

地域の状況や取組の目的を明確にしましょう。

地域の家庭教育の課題や訪問対象年齢等、この取組によってどのような効果を期待するのかを明らかにします。

Step 2

チーム員の人選をしましょう。

チーム員の人選は重要です。取組の推進に最も適した人物を選出しましょう。人柄や傾聴の姿勢に加え、専門的な経験がある人物ならば効果的です。

Step 3

継続的な仕組みづくりを行いましょう。

行政のチーム担当者が、チーム員やチームの活動内容について学校や福祉部局等に紹介することで、活動がより円滑に行われます。

定期的な会議や情報交換の場を設定するなど、他機関関係者と連携した取組を検討しましょう。

個人情報取扱いについて

家庭訪問をすると、その家庭の個人情報を入手することも多くあります。家庭訪問で知り得たことは、内部の関係者以外には、知らせてはいけません。
(守秘義務※職務を退いた後も、同様です。)

全戸型訪問支援

小中学生を持つ家庭に全戸訪問

「あすなろ」 勝央町家庭教育支援チーム

構成員 9人（元教員、民生児童委員、元保育士、現役保護者など）

【問合せ先】

勝央町教育委員会
教育振興部

Tel.0868-38-1753



家庭教育専門員の田中さん

日頃から多方面で子どもたちのために活動している経験豊富な9人が、『地域の子どもは地域で育てる』ことをコンセプトに、意見を出し合いながら活動しています。

3か月に1度、子育て・家庭教育情報誌「あすなろ」を手渡しすることで、顔の見える関係づくりを構築しています。訪問の回数を重ねるごとに相談件数も増え、情報誌を心待ちにしてくださるご家庭も。必要に応じて学校と家庭のパイプ役も果たすようになり、学校や家庭との信頼関係もできてきました。

子どもも保護者も応援したい気持ちから「冬休み宿題教室」を実施し、喜んでいただいています。また、チーム員研修や、他チームとの交流を通して活動の幅を広げています。「ひとりではできないこともチームでならできると実感しています。」

▶情報誌の訪問配付

子育て情報誌を年4回作成し、小・中学生を持つ家庭全てを対象に訪問配付している。訪問では、悩みを気軽に話せる存在となりつつあり、保護者の様子や変化に早期に気づく等、各家庭の心情や環境に寄り添った支援ができています。

▶学校、他部局との連携

連絡会を月1～2回程度開催し、チーム員、教育委員会、健康福祉部が参加している。情報や相談に対して早い対応につながり、家庭の孤立化等の課題への未然防止に効果を上げている。



訪問しながら、情報誌を手渡ししている様子

教育と他部局の連携型支援

子育て情報誌を市内の乳幼児家庭へ配付

「はぴまる」 津山市家庭教育支援チーム

構成員 13人（親育ち応援学習リーダー・ファシリテーター、子育て支援センター職員、主任児童委員など）

【問合せ先】

津山市教育委員会
学校教育課

Tel.0868-32-2114



渡邊さん、日置さん、木下さん

ファシリテーターを中心としたチームに、子育て支援センターの職員等が加わることで、実情にあった保護者支援の内容を組み立てることができ、ニーズに合わせた研修を行うことができます。特に、親育ち応援学習プログラムを活用した互いに学び合うワークショップの形は、高い満足度を得ており、保護者同士のつながりを広げ、深めることができています。

▶子育てワークショップ研修

参加体験型のワークショップにより、保護者同士のつながりを深め、子育ての不安や悩みの軽減を図っている。

小学校の入学説明会にワークショップの時間を取り入れることで、普段はなかなか参加することのできない保護者も、ワークショップを体験することができるようになってきている。

▶他部局との連携

ファシリテーターが一堂に会し、チームとして子育て啓発チラシを作成し、子育て支援センターや保健師等と連携し各家庭へ配付している。



参加体験型のワークショップの様子

ベルト型訪問支援

小一児童を持つ家庭に全戸訪問

「英田・勝田班」 美作市家庭教育支援チーム

構成員 3人（主任児童委員、元教員）

【問合せ先】
美作市教育委員会
社会教育課
Tel.0868-72-2900



主任児童委員の有瀬さん(中央)と
チーム員

保護者に対して訪問日について事前に希望を取り、定例連絡会で情報共有したり調整したりしています。当日留守だった家庭には、家庭教育支援員の周知を図るチラシを投函するという形で対応しています。

私たちは、相談された問題を解決するのではなく、家庭を学校の先生や各支援機関とつなぐことを意識して活動しています。保護者との関係づくりには、ゆるやかな温かい関わりが大切です。

▶ 学校との連携

英田エリアで小学1年生の子どもを持つ全戸家庭を訪問するために、学校と支援員で連携し、行事に合わせて保護者と顔合わせをしたり、説明したりしながら、訪問型家庭教育支援事業の周知を行っている。

▶ チーム員の役割

主任児童委員や教職員の経歴を持ち、地域ボランティア等に精力的に活動するチーム員の存在は、たくさんの保護者に周知されており、保護者から訪問依頼がある等、子育ての不安や悩みの解消につながっている。



児童、保護者との顔合わせの様子

ターゲット型訪問支援

就学前の子どもを持つ家庭へ情報誌の配付

「すくすくハート」 早島町家庭教育支援チーム

構成員 7人（子育て支援センター職員、元幼稚園長、元民生児童委員協議会会長、愛育委員代表、健康福祉課母子保健コーディネーター、学校教育課職員）

【問合せ先】
早島町教育委員会
生涯学習課
Tel.086-482-1511



加藤さん 半田さん 渡邊さん



中元さん 福森さん

子育ての知識・経験が豊かな地域人材で結成した「すくすくハート」は、子どものすこやかな成長と、保護者の皆様の楽しい子育てを応援するために活動しています。チーム員がそれぞれの視点から情報や課題を持ち寄って、本当に必要な支援は何か考えています。子育てに役立つ情報などをパンフレットや情報誌にまとめて、地域の皆さんに届けています。是非ご覧ください。

▶ 他部局との連携

教育委員会と健康福祉課が連携し、子育てカレンダーと一緒に作成したことで、課題共有ができた。整理した支援や取組をパンフレットにし、チーム員が配付しながら、保護者との関係づくりに努めている。

▶ 定例情報共有会議

2か月に1回程度の定例会で、チーム員の活動報告と、子育て情報誌の内容・訪問方法等を協議している。熱い思いのこもった意見交換の中で、「すくすくハート」のチームワークが育ち、充実した会議となっている。



定例情報共有会議で協議をしている様子

担当者の皆様へ

ピンポン、こんにちは。
そして、ありがとう。

訪問型家庭教育支援の魅力！

あなたの訪問で、ご家庭を応援！
あなたのちょっとした訪問で、ほっとできるご家庭がある。
あなたがお話をうかがうことで、心救われるご家庭がある。
あなたのご家庭への訪問で、地域がつながる。



おかやま子ども応援推進委員会
地域家庭教育推進部会
部会長 保野 孝弘

子育てに困ったときは、いつでも相談してください。

～子育ての相談等、対応が難しい場合～

対応が難しいケースについては、中途半端な対応がかえって問題を深刻化させることがあります。
相談窓口へつなぐことも大切な支援です。

相談窓口

岡山県青少年総合相談センター（ハートフルおかやま110）

TEL 086-224-7110 E-mail sodan110@po1.oninet.ne.jp

子どもほっとライン TEL 086-235-8639 E-mail kodomo@fine.ocn.ne.jp

すこやか育児テレホン TEL 086-235-8839 E-mail sukoyaka@po1.oninet.ne.jp

関係資料

<文部科学省>

- ・家庭教育支援に関する
文部科学省ポータルサイト
- ・訪問型家庭教育支援の関係者のための手引き（ポイント）



手引き



ポイント



- ・「家庭教育支援チーム」の手引き



手引き



【お問い合わせ先】 詳しく知りたい時は連絡してください。

おかやま子ども応援推進委員会 地域家庭教育推進部会

岡山県教育庁 生涯学習課

〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号 TEL 086-226-7597 FAX 086-224-2035

岡山教育事務所 生涯学習課

〒700-8678 岡山市北区石関町2-1 TEL 086-221-7776 FAX 086-221-0919

津山教育事務所 生涯学習課

〒708-0052 津山市田町31 TEL 0868-24-8703 FAX 0868-24-1095